

平治宿トイレの排水路工事など

◇実施日 6月6日(金) 晴

◇参加者 村吉光夫、松本吉殖、阪口秩臣、梶野照雄 4名

6月1日に残した平治宿トイレの排水路工事を、6日に行うことになった。同時に水場のホースから出る水を増やす加工を行った。午前8時半に池原集合だったが、1時間ほど遅れて池原に着き、持経宿を目指した。林道ゲートまでに3回車を降りて落石を排除したが、それ以外の障害はなかった。ゲートから上もパンクしないようにゆっくり走り、持経宿手前の奥駆道が近い場所に車を停めて登り始めた。



ここから登る

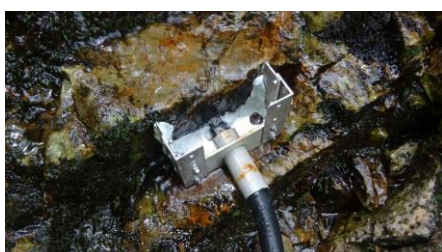


排水路工事中



水中パテを使う

ここは千年松の少し南で、持経宿から歩くより10分程度短縮できる。1時間弱で平治宿に着くと、3人が排水路工事の最中だった。水場に行く、と告げて水場に降りた。ホースの取水口に水受けを取り付け、水中パテで隙間を塞いで、水が少しでも多く集まるようにした。ホースの先端から出る水は、ほぼ2倍になったようだ。水場の沢に流れがあるとホースからの給水ができるが、流れが減るとホースからの給水はできなくなるだろう。



取水口の改良

先端の水は増えた

本日の参加者

小屋に戻って昼食を摂る。村吉さんがコーヒーを入れてくれた。食後、完成したトイレ排水路に水を流してみた。最初の傾斜が急なので、勢いよく水は流れるが、ほぼ90度の樋の縁に当たった水が樋の外に流れ出してしまふ。全部の水が樋に流れ込むような構造が必要だ、ということになり再度工事することになった。荷物をまとめて持経宿に戻る。途中で南下する一人の登山者に出会った。今日は行仙宿に泊まり、明日本宮まで行く予定だという。車に戻って持経

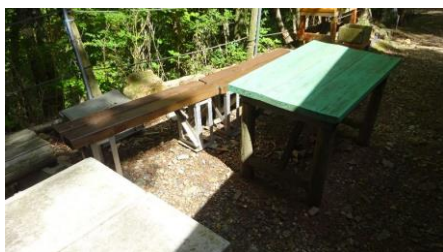
宿に向かった。



排水路の要改良箇所



持経宿に着く



補強したベンチの脚

持経宿に着いて、発電機を動かして、1日に作ったベンチの脚を補強する。トラスを入れたので十分な強度になった。村吉さんは、水場から先の林道を見てくる、と車で降りて行ったが10分程で戻ってきた。水場の少し先までは重機の入った形跡があるが、それ以後は通行困難な状況だったらしい。持経宿を離れ、村吉車先頭で池原に向かう。パンクせず無事に池原に着き、松本さん、阪口さんは帰宅。村吉さんは下池原の駐在所へ、私は村役場へと別れた。村役場で地域振興課の家郷課長にお会いし、村道池郷線の倒木撤去をお願いした。村吉さんは駐在が不在だったので途中から合流された。午後4時過ぎ、スポーツ公園に戻った。

(記：梶野)

行動タイム

09:32 池原→09:54 池郷林道ゲート 10:31 千年桧南→11:04 中又尾根分岐→11:20 平治宿→11:30 水場 12:05→12:18 平治宿
12:50→13:58 持経宿 14:50→15:41 スポーツ公園駐車場→15:55 村役場→16:40 スポーツ公園